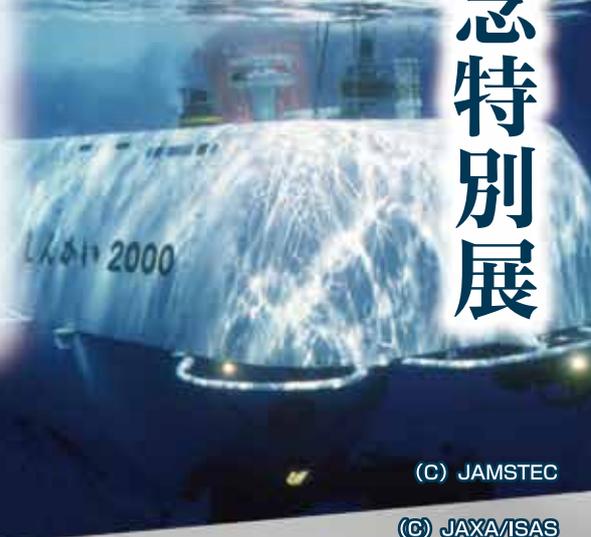
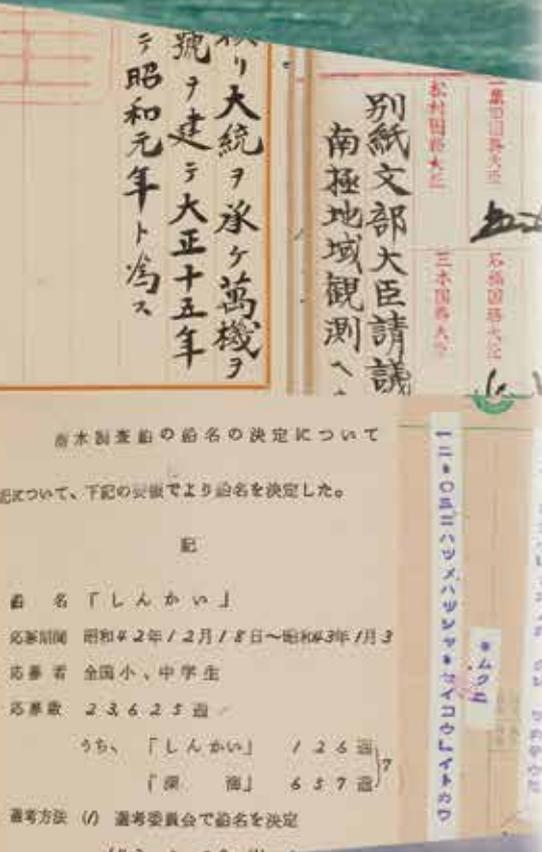
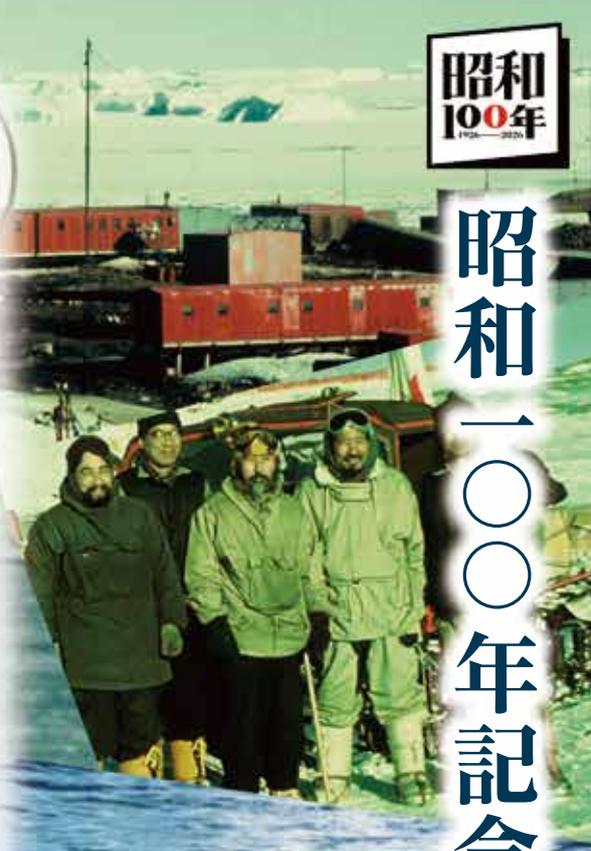


昭和一〇〇年記念特別展

昭和の日本人と

フロンティア

南極・深海・宇宙への挑戦



(C) JAMSTEC

(C) JAXA/ISAS



(C) JAXA

令和8年 3月20日[金・祝] — 5月24日[日]
土日祝日開館、月曜休館※5月4日(月・祝)は開館、5月7日(木)は休館
協力:国立極地研究所、(一社)千代田区観光協会

入場無料 予約不要

会場:国立公文書館東京本館 1階展示ホール
開催時間:午前9時15分~午後5時
期間中の毎週金曜日は、午後8時まで開館します。
※3月20日(金・祝)を除く

<https://www.archives.go.jp/>

X(Twitter) Instagram Facebook YouTube



記録を守る、未来に活かす。



〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園 3-2
TEL: 03-3214-0621

何をフロンティアとし、

何を求めたのか

昭和への改元に際し、元号の出典は「百姓昭明、協和万邦」とされ、諸外国との協和が唱えられていました。当時の日本人は欧米諸国にならい、未踏の地や未知の領域＝フロンティアを目指し、対外進出や軍事を中心とした先端技術の開発を進めました。しかし、日本は第二次世界大戦に敗れ、占領下で軍事技術の開発などを制限されました。

昭和27年、日本の占領が終わりを告げ、自ら再び広大な世界に向き合った時に、日本人は何をフロンティアとし、そこに何を求めたのか。昭和100年を迎えた現在、技術の発達やインターネットの普及によって「未知」が減少し、フロンティア探求のモチベーションも低下している中、南極・深海・宇宙という未知の領域に対して昭和の日本人が挑んだ姿を、当館所蔵資料を通じてご紹介します。

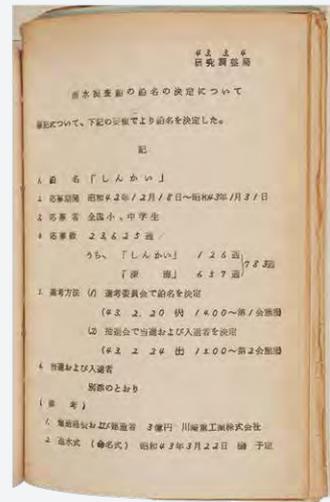
昭和の日本人のフロンティア・スピリットから、混迷する現代を生き抜く明日への活力を再発見してください。

南極



南極観測船宗谷の航路
(昭和31年(1956)11月～昭和32年1月)

深海



潜水調査船の船名が「しんかい」に決まる
(昭和43年(1968)3月)

宇宙



糸川英夫がロケット実験の成功を伝える電報
(昭和30年(1955)8月)

特別展関連イベント

特別展をさらに深く楽しめるイベントを企画中です。参加費無料。詳細は決まり次第、国立公文書館HP、SNSでお知らせします。



🌙 夜間開館を実施します

会期中、毎週金曜日は午後8時まで開館します。お仕事、お出かけの帰りにぜひご来館ください。



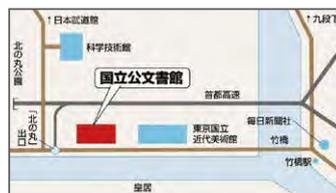
📖 原本特別展示

常設展示室で展示します。

「平成」の書、「令和」の書 展示期間：3月20日(金・祝)～4月5日(日)

日本国憲法 展示期間：4月29日(水・祝)～5月6日(水・休)

予告：令和8年夏の特別展「旅(仮称)」令和8年7月中旬～ 開催予定



〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園3-2
TEL: 03-3214-0621
アクセス▶東京メトロ東西線竹橋駅下車[1b出口] 徒歩5分